

ニューカッスル大学 海外語学研修参加報告書

外国語学部国際関係学科 1 年（参加時）

私は春休み中にオーストラリアのニューカッスル大学での海外語学研修に参加した。5 週間という短い間だったが大変充実した時間を過ごすことができた。

学校生活については、様々な国籍の人と関わることができた。授業は 1 日 4 時間あり、午前と午後、それぞれ 2 時間ずつであった。私のクラスは日本人が 5 割程であり、中国の方やサウジアラビアの方もいた。授業の内容としては、週ごとに変わるトピックについて、グループやペアで話し合ったり、ミニプレゼンを行ったりと、実践的なものが多かった。授業はすべて英語で行われ、日本人同士であっても必ず英語で話し合いをしていた。また、授業ではエッセイの書き方も教えていただき、課題として出されたエッセイの添削も丁寧にしていただいた。さらに、最後の週には最終プレゼンを行った。授業で学んだことを活かして、PowerPoint を作り、ペアの人とで 4 分程のプレゼンを行った。

昼休憩は、積極的に他の国籍の人と一緒に過ごしていた。昼休憩は 2 時間もあったため、非常に有意義に過ごすことができた。オーストラリアに来た目的や夢、それぞれの家族や国の文化など、様々な話をすることができた。授業の中では知ることのできないことを知り、リスニング力やスピーキング力を鍛えることにも繋がり、とても充実した時間だった。また、毎週月曜日の昼休憩に開催される **Speed Conversation** という活動にも参加した。オーストラリアの方や、中国の方と、テーマに沿って会話をするというものだった。自分の国や故郷の歴史、故郷の好きな場所などについて話した。少人数であったため、会話もしやすく、新たな知識を得ることにも繋がった。

放課後は、毎週月曜日と木曜日に、**Japanese English Club** に参加していた。日本に興味を持つオーストラリア人が多く、私のつたない英語も一生懸命理解しようとしてくれる方が多かった。基本的には会話をすることが多いが、UNO をしたり、折り紙を作ったりもした。国籍が違っても、一緒に楽しめることに嬉しさを感じた。

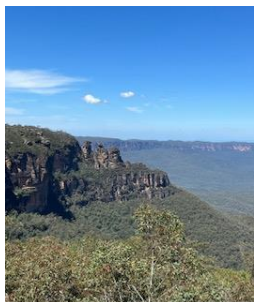


ホストファミリーは本当に優しい方だった。オーストラリアの方で、ホストマザーとホストファザー、娘さんとその旦那さんの 4 人であった。私は、家族の会話についていくのに必死だったが、私が理解できていない時は、わかりやすい言葉で説明してくれたり、ジェスチャーを使ってくれたり、非常に親切にしてもらった。特にホストマザーは、私が授業のスピードについていけないからと悩んでいた時も、温かく元気の出る言葉をたくさんくれて、いつも私のことを気にかけてくれていた。また、毎日おいしいご飯を作ってくれたり、私が気

に入っていたオムレツやマフィン、クッキーの作り方も教えてくれたりした。週末には、ファームやビーチ、ショッピングモールにも連れて行ってくれた。ファームではカンガルーに餌をあげたり、コアラを近くで見たりできた。ホストファミリーのおかげで、素敵な思い出をたくさん作ることができた。



週末は、平日にはできない経験をたくさんすることができた。シドニーには2回行き、オペラハウスやハーバーブリッジ、タロンガ動物園などに行った。特に印象に残っているのはブルーマウンテンだ。幼いころからブルーマウンテンを見ることが夢だったため、自然の美しさを感じ、本当に感動した。また、週末に **Japanese English Club** の人たちと過ごすこともあった。クラブの人たちとカフェに行ったり、サンドサーフィンをしたりできたのも、良い思い出である。



私はこの海外語学研修を通して、学んだことが2つある。1つ目は、挑戦する気持ちを持つことの大切さだ。私はオーストラリアを去る日、やり残したと思うことがないようにしようと日々過ごしてきた。特に、過ごしたい人とたくさん過ごし、話したい人とたくさん話そうと思って、積極的に声をかけた。また、昼休憩の活動や放課後のクラブ活動も、自ら参加したことで、新たな発見や人との繋がりを得ることとなった。最後の日に後悔を残したくないという気持ちからのこの行動は、私の視野や世界を大きく変えてくれた。2つ目は、周りの人に感謝する気持ちを持つことの大切さだ。5週間の間で、自分の英語力の低さに何度も悔しさを感じ、最後まで頑張れるか不安を感じたこともあった。しかし、ホストファミリー

や先生、クラスメイトなど、多くの人の温かい言葉と支えのおかげで、私は最後まで諦めずに、オーストラリアで充実した生活を送ることができた。周りの人の存在が私を大きく成長させてくれた。

この海外語学研修は、さらなる英語力の向上と日本や世界の文化や社会情勢についての学びを深めていきたいという気持ちを強くさせるきっかけとなった。これらを十分に習得できた時、私はもう一度オーストラリアに行きたい。ホストファミリーや先生、クラスメイトと、今回よりももっと話ができるよう、この海外語学研修で学んだことと今の気持ちを忘れず、継続的に勉強し、成長していきたい。